

令和六年度宮城県支部俳句会成績

日時 令和六年五月二十五日(土)

会場 東京エレクトロンホール宮城

井上弘美（本部選者）

特選 かたかごの花蕉翁も触れし風

佐藤 享保

筆先の水の花いろ仏生会

堀之内久子

栗駒山の蹄の音す穀雨かな

門間としゑ

秀逸 水蹴つて小鴨群れ発つ葭火入れ

大沼せつ子

咲き初めは朝風のもの紅枝垂

高村 龍彦

神苑の走り根太し祭笛

久保田菊香

しやぼん玉夕日に幾つ浮かびたる

木村 裕一

筆巻の紐に冷えあるさくらかな

堀之内久子

佳作 弥生三月和菓子の薬のうすみどり

石垣真理子

囀りや肥料袋を山積みに

佐藤 綾泉

キャンパスに胴上げの声朝桜

鈴木わかば

指に挟むひよこの脚や春祭

屋代ひろ子

燈台まで菜の花明かり潮あかり

富田 洋子

下校の子土産たんぽぽ連絡帳

佐藤 拓郎

言の葉の詰まる語り部黄水仙

京極 久也

花林檎岩木嶺白き角隠し

小野寺一砂

突風に光くづるる雪柳

大倉由美子

馬耕打の鼻取したる蓮華草

佐藤 明子

互選高得点

種物屋龍角散も売りみたり

鶴岡 行馬

指に挟むひよこの脚や春祭

屋代ひろ子

初夏の画帳はみ出す鶏冠かな

田村 恵子

言の葉の詰まる語り部黄水仙

京極 久也

末黒野や海へと光る名取川

屋代ひろ子

春暁や戸棚に能登の塩袋

石垣真理子

筆巻の紐に冷えあるさくらかな

堀之内久子